

(1) 配水管の耐震化 (追加)

A I 劣化診断調査で判明した 高リスクの配水管延長 (km)	整備スケジュール (k m)
	(R7～R11)
16	16

(2) 基幹管路の耐震化の整備スケジュールの見直し

〈基幹管路の耐震化計画〉（経営戦略 P 21）

地 域	延 長 (km)	耐震化済 延長(km)	未整備延長 (km)	整備スケジュール (k m)		
				短期 (～R6)	中期 (～R16)	長期 (～R31)
高 山	25	16	9	9 8	1	
支 所	118	26	92	10 1	82 9	82
計	143	42	101	19 9	82 10	82

[illegible]

(3) 施設の耐震強化の整備スケジュールの見直し

＜施設の耐震強化計画＞（経営戦略 P23）

施設数					整備スケジュール（施設数）		
	新耐震基準	旧耐震基準			短期 （～R6）	中期 （～R16）	長期 （～R31）
			優先度				
			小	大			
412	332	80	55	25		15 2	10 23

計画期間	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
施設名	5-2 施設整備 下切取水場(高山) 上野平配水池(丹生川) 山梨配水池(久々野) 木曽垣内浄水場(国府) 瓜巢浄水場(国府)									

R17～R31 に変更

令和 6 年度 A I を活用した漏水リスク調査結果

【調査結果】

○評価・分析方法

人工衛星データ、オープンデータ及び管路データを基に、A I を活用して劣化診断を行い、漏水のリスクを 5 段階で評価

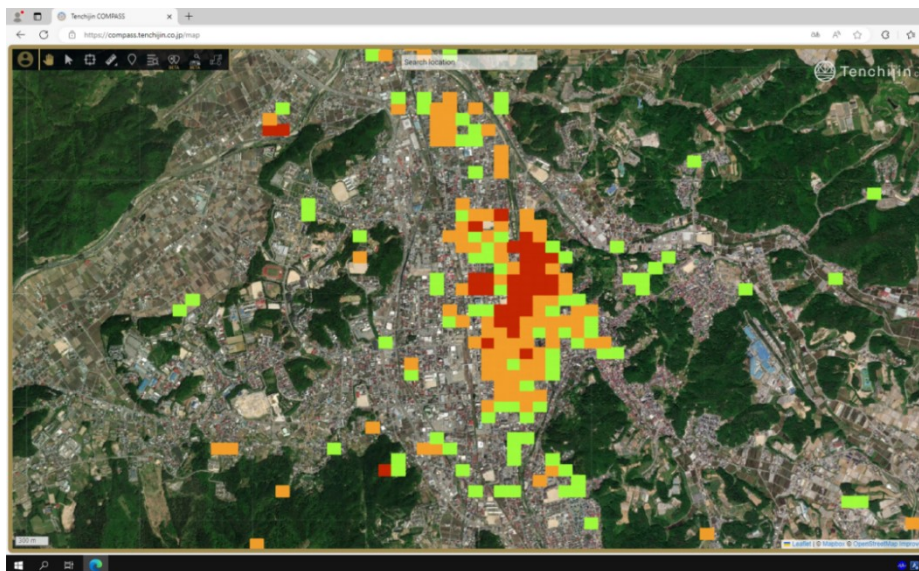
人工衛星データ：地盤変動、気象データ（地表面温度）
オープンデータ：地形、地質・土壌・地盤、土地利用、標高、地震予測地図、建物、人口統計データ（人口密度、世帯、人流データ）、道路、鉄道
管 路 デ ー タ：口径、管路位置、施工年度、材質、継手、配水区域、修繕履歴

○各リスク値における配水管延長

リスク値	配水管 (km)	割合 (%)	直近 5 年以内に漏水が発生する確率
リスク 5	1 5 . 7	1 . 6	50%以上
リスク 4	5 4 . 4	5 . 5	25%以上 50%未満
リスク 3	5 3 . 2	5 . 4	25%未満
リスク 2	1 5 0 . 7	1 5 . 3	0 ではないが確率は低い
リスク 1	7 1 3 . 2	7 2 . 3	0 ではないが確率は極めて低い
合計	9 8 7 . 1	1 0 0 . 0	

リスク 5 の内訳：高山 14.8km、丹生川 0.1km、荘川 0.2km、国府 0.1km、上宝 0.5km

○各リスク値位置図（高山市街地を抜粋）



凡 例	
リスク 5	
リスク 4	
リスク 3	
リスク 2	非表示
リスク 1	非表示

【有収率】

年度	H 3 1	R 2	R 3	R 4	R 5
有収率	74.11%	73.23%	71.81%	71.50%	70.46%

※R 4 県内市平均 78.00%

